



ペットボトル入りのツシマヤマネコ米は対馬空港の売店でも販売中。お土産にも最適です。



かすがめ きよし
春日亀 清さん

プロフィール

42歳。上県町佐護出身、在住。高校卒業後、福岡で就職。平成15年に対馬に戻り、実家を手伝う。現在は佐護土地改良区、対馬振興会事務局の職員。佐護区では青年部長を務める。毎年行われるあじさい祭りの事務局長、佐護ヤマネコ稲作研究会の事務局長でもある。趣味は魚釣り。自身の船でジギングを楽しむ。

あじさい祭りに関わるようになったのは？

故郷に帰ってきて1年目だったかな、前回のシヨツキングに登場した総区長の平山さんから手伝ってくれと言われて、「いいことしよるなあ」と思ったので、実行委員に加えてもらって、それからですね。

例年は3月頃から祭りの準備をするんですが、今年は10周年でしたから1月から始めました。あじさい祭り、毎年楽しんでいただいていますか？

天候に左右される行事なんですけど、嬉しいことに年々お客さんが増えていきますので、祭りに来て楽しんでいただけるように企画も努力しています。

佐護ヤマネコ稲作研究会の事務局長でもいらつしやいますね

私も「ツシマヤマネコ米」をいただきましたが、とっても美味しかったです！

それはありがとうございます。試験的に始めたのが一昨年。去年からホームページも作って本格的に活動して、注文もいただくようになりましたが、まだまだですね。1年目は作ったトン数全部が売れて、2年目の米も

ほぼ目途がついた状況です。3年目である今年の米作りも始まりました。注文は関東が多いですね。イベントで買ってみて美味しかったからとインターネットを通して注文してくださるパターンもあります。

今までの米作りよりも手がかるわけですね。

そうですね。従来の米作りに使用する農薬の5割減は絶対です。農薬を使わない代わりにこまめな手入れが必要です。雑草も多いですし、虫も出る。でもそれがヤマネコの住みよい環境なんです。虫がいるからヤマネコも寄ってくるんですね。生息するヤマネコと共存するため一つの方法だと思って取り組んでいます。手もかかりますが、美味しいと言っていただける声

が励みになります。目標は新米が出来たらすぐ全国から注文が入り売り切れること。今年のヤマネコ米の作付けは佐護区の田んぼ80ヘクタールのうち20ヘクタールくらいになるんじゃないでしょうか。供出量もかなりな量になるでしょう。これをどのように売り切るかが直近の課題です。私たちは小さな集まりで

すから、徐々にじっくりと思いを大切にしながらやっていこうと思っています。

趣味は魚釣りとのことですが？

対馬に帰ってきてからクロ釣りを始めました。仲間にジギングに誘われて行ったら楽しくて今までの釣果は、クロの2キロ超えを2枚釣りましたね。多分すごいことですよ。自慢なんです(笑)。今年は時化ばかりで釣りに行けてないです。船底に海藻が生えてしまってますから、まずは船の手入れからですね(笑)。

今後の抱負は？

対馬を広めたいですね。井口浜に放牧場もできました。対馬が対馬の魅力の一つになればと思っています。今後もおじさい祭りは続けていきますし、来年はパラグライダーが10周年ですから、皆さん佐護に来てくださいね。

毎回、登場してくださった方に次の方をご紹介いただくのコーナー。次回は上対馬町唐舟志在住の糸瀬政吉さんです。お楽しみに。